

島根県公立入試 類似)

- (2018年 広島県公立入試 類似)

- されています。このような高い減少率を示す地域に共通して見られる地形的な特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試)

- (2026年 徳島県公立入試 類似)

- る米の割合が低く、一方で果実の産出額が全体の約3分の1という極めて高い比率を示す県として正しいものを選びなさい。(2020年 岩手県公立入試)

- 名称がそのまま県名に

- 日本の諸都市の

- (2018年 爱媛県公立高校入試 類似)

- 中国地方と四国地方の各

- において、石油化学コン

- 晶図の統計を比較した

4. 高松は標高の高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、周辺の都市に比べて上昇気流が発生しにくく、常に乾燥した下降気流にさらされるた

- コン・ビナートが立地し

- はなくあえて臨海部に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。(2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから | 2. 周辺の山地で採掘される石炭や鉄鉱石を、短い距離で工場へ運び込むことができるから | 3. 主要な消費地である東京や大阪などの大都市に隣接しており、高速道路網による陸上輸送に有利だから | 4. 製品の冷却に大量の淡水が必要なため、大きな河川の河口付近に工場を建てる必要があるから |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 島根県	全国平均と比較して第1次産業（農業・林業・漁業）の就業者割合が約8%と高く、農林水産業が地域経済において重要な役割を果たしています。愛知県や大阪府といった大都市圏の工業地帯と比較すると製造品出荷額の規模（約1兆円強）は小さいものの、43箇所の温泉地をはじめとする豊かな自然や文化景観を活かした第3次産業（観光業など）も展開されているのが特徴です。
問2	答え 1 時間距離の短縮	交通手段が発達したり、新たな道路や橋が整備されたりすることで、2地点間の移動に必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」と言います。本州四国連絡橋の整備により、以前はフェリーへの乗り換えや待ち時間が必要だった本州と四国の移動が、陸上交通のみでスムーズに行えるようになったことが大きな要因です。
問3	答え 3 険しい山地が広がり、交通や生活の利便性が低い地形	中国地方の内陸部には中国山地が連なっており、険しい地形が広がっています。こうした地域では交通網の整備が難しく、病院や商店などの生活サービスを維持することが困難なため、都市部への人口流出が続いています。このような現象は「過疎」と呼ばれ、特に広島県北部などの山間部で顕著に見られます。
問4	答え 4 島根県	石見銀山は、中国地方の日本海側に位置する島根県にあります。戦国時代から江戸時代にかけて盛んに銀が採掘され、現在は世界遺産に登録されています。
問5	答え 4 愛媛県	各都道府県の農業産出額には地域特性が強く現れます。秋田県は「米」の割合が非常に高く、茨城県は近郊農業を背景に「野菜」や「畜産」の割合が高くなります。また、北海道は広大な土地での「畜産」や畑作が中心です。これらに対し、温州みかんなどの生産が盛んな愛媛県は、果実が突出して高い割合を占める特徴的なグラフとなります。
問6	答え 4 岡山市	岡山県は、江戸時代の岡山藩の拠点であった岡山城下を中心に成立しました。明治時代の廃藩置県において、旧藩名である「岡山」がそのまま県名および県庁所在地の名称として引き継がれたため、両者は一致しています。同じ中国地方の広島県（広島市）なども同様のケースですが、島根県（松江市）や山口県（山口市）のように、県名と最大の都市名が異なる、あるいは県名と県庁所在地名が一致しない例も存在します。
問7	答え 4 年間の合計降水量が1,100mm程度と全国的にも少なく、夏や冬の時期を含め、一年を通じて極端に降水量が増える月がほとんど見られない。	高松市の気候（瀬戸内の気候）をグラフなどで確認すると、太平洋側の高知市や日本海側の新潟市などと比べて、棒グラフ（降水量）の高さが全体的に低く抑えられていることが分かります。特に、太平洋側で顕著な夏から秋にかけての突出した雨量や、日本海側で顕著な冬の降水が見られないのが特徴です。年間の降水量が約1,000～1,200mm程度という数値は、日本の平均（約1,700mm）と比較してもかなり少ない部類に入ります。
問8	答え 1 新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため	交通手段の選択において、利用者は「ドア・ツー・ドア（出発地から目的地まで）」の総所要時間を重視します。岡山県の場合、山陽新幹線の「のぞみ」を利用すれば東京まで約3時間10分程度で到着できます。航空機を利用する場合、搭乗手続きや羽田空港・岡山空港へのアクセス時間を考慮すると新幹線と同等か、場合によっては新幹線の方が早く目的地に到着できるため、鉄道の利用割合が高くなっています。
問9	答え 3 島根県、愛媛県、香川県	中国・四国地方にある9県のうち、県名と県庁所在地名が異なるのは、島根県（松江市）、愛媛県（松山市）、香川県（高松市）の3県のみです。鳥取県、山口県、徳島県、高知県などは、県名と県庁所在地名が同一であるため、知識の整理が必要です。
問10	答え 4 原料の輸入や製品の搬出に便利な海上交通の利便性を活かすため	瀬戸内工業地域は、波が穏やかな瀬戸内海に面しており、大型船が接岸しやすい臨海部に工場が立地しています。海外から輸入する鉄鉱石や原油などの重い原料を大量に運び込み、また製品を積み出すのに適した海上交通の利便性を最大限に活用したことで、石油化学コンビナートなどの重化学工業が発展しました。
問11	答え 3 鳥取は冬の季節風、高知は夏の季節風や台風の影響で降水が増えるが、高松は二つの山地に挟まれてそれらの湿った空気が届きにくいため。	日本の気候は、季節風が山地を越える際にその山脈の風上側に雨や雪を降らせる特徴があります。日本海側の都市は冬に、太平洋側の都市は夏や台風時に降水量が増加しますが、中国地方から四国地方へ南北に横断する地形を見ると、高松は二つの高い山地の中間に位置しています。このため、どちらの季節からの湿った空気も遮断され、降水量が抑えられる結果となります。
問12	答え 1 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから	瀬戸内工業地域は、波が穏やかな瀬戸内海の海上交通を活用できる利点があります。石油化学工業は、原料となる原油を海外からの輸入に頼っているため、大型船舶が直接接岸できる港湾施設を備えた臨海部が立地に最適です。このように、原料の受け入れから製品の出荷までを一貫して効率的に行うため、海に面した場所に工場が集まっています。